

## 埼玉県クラスター対策チーム設置運営要綱 (通称：COVMAT)

### (目的)

第1条 この要綱は、埼玉県内において新型コロナウイルス感染症のクラスターが形成される恐れのある患者等が発生した際に、今後の感染拡大を最小限に予防するためのクラスター対策チーム運営に関し、必要な事項を定める。

### (定義)

第2条 この要綱において使用する用語の定義は次のとおりとする。

#### (1) COVMAT

COVMATとは、「埼玉県クラスター対策チーム (Corona Virus Mobile Assist Team)」の呼称。主たる活動は対策チーム (COVMAT要員) とアドバイザリーボードによる技術的支援となる。

#### (2) 対策チーム (COVMAT要員)

COVMAT要員とは、新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した施設等に管轄保健所とともに現地へ赴き、技術的支援を行う派遣チーム。編成は医師をリーダーとした1チーム4名による編成を基本とする。

#### (3) クラスター対策代表者会議 (アドバイザリーボード)

アドバイザリーボードとは、県内の医療関係団体及び福祉団体の代表者で構成された組織で、新型コロナウイルス感染症の発生状況や各団体における予防対策の取組などの情報交換を定期的に行うとともに、クラスター発生時には各団体固有の課題に対して相談、助言を行う機能を有する。

また、アドバイザリーボードには、対策チーム (COVMAT要員) 及びオンライン支援 (eMAT) のメンバーも参加することができる。

#### (4) オンライン支援 (eMAT)

eMAT支援とは、新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した高齢者施設等に対して、福祉部とともに、感染管理認定看護師によるオンラインでの技術的支援。

COVMAT派遣より迅速な対応が可能のため、早期対応及びCOVMAT派遣後の継続的支援を担う。

#### (5) COVMAT事務局

保健医療部感染症対策課はCOVMAT事務局 (以下事務局) として、COVMAT要員の派遣調整やアドバイザリーボードの会議運営など事務処理を担う。

### (編成)

#### 第3条

(1) COVMAT要員は、1チームにつき医師 (感染症専門医や被災地等での感染症対策の経験を有する医師) 1名、感染管理認定看護師 (学会等における同程度の認定もしくは、感染症病棟での勤務など感染管理の実務経験を有する者を含む) 1名、保健師1名及び業務調整員1名で構成することを基準とし、5チーム程度編成する。施設等の特性に応じ、COVMAT要員は適宜、追加することができるものとする。

また、感染拡大が著しく急速に拡大が想定される場合には、感染管理看護師等の派遣において対応することができる。

(2) アドバイザリーボードは、医師、看護師、歯科医師、薬剤師、福祉団体の代表者から10名程度で組織する。

委員の任期は2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(3) オンライン支援（eMA T）は、福祉部、感染管理認定看護師、感染症対策課で構成し、オンラインで編成する。

（リーダー及び統括）

#### 第4条

- (1) COVMAT 要員の各チームにリーダーをおく。
- (2) リーダーは、チームの活動を統括する。

（出動基準）

#### 第5条 COVMAT 要員の出動基準は、次のとおりとする。

- (1) 県内の福祉施設や療養型医療機関で入所者又は入院患者で新型コロナウイルス感染症の陽性者が1名以上発見され、今後医療及び保健活動への需要が増大する可能性があると思込まれる場合
- (2) 県内の医療機関において複数名の新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生しており、保健所等からCOVMAT 要員の派遣要請があった場合
- (3) その他、保健所等から派遣要請があった場合

（出動）

#### 第6条

- (1) 感染症対策課長は、出動基準に照らし、COVMAT 要員の出動が必要と認められるときは、COVMAT 要員を出動させる。その場合、COVMAT 要員は必ず管轄保健所と共に行動する。  
ただし、感染急増時等における対応については、COVMAT 事務局等での対応ができるものとする。
- (2) 管轄保健所は、原則として様式第1号に施設の平面図及び感染状況一覧を添付しCOVMAT 派遣依頼し、その承認を得るものとする。ただし、緊急で文書による要請が困難な場合には、様式第1号は後日提出することとする。
- (3) 事務局は、COVMAT 要員派遣依頼を受理した際は、直ちに様式3号により協力医療機関に埼玉県クラスター対策チーム（COVMAT）の編成について依頼し、チームを編成する。
- (4) 支援はオンラインで実施することができる。

（COVMAT 要員の活動内容）

#### 第7条 COVMAT 要員の活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 患者等発生施設における入所者や施設職員等の医療情報の収集
- (2) 施設内における有症状者のトリアージとゾーニング
- (3) 施設内の清掃・消毒方法等に関する助言・支援
- (4) 施設管理者に対する今後の接触者等の健康観察における留意点の助言
- (5) 活動後は様式3「COVMAT 要員活動記録報告書」により報告

（アドバイザーボードの活動内容）

#### 第8条 アドバイザーボードの活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 県内のクラスターの発生状況に関する分析、評価に関すること。
- (2) COVMAT 要員による活動に関する効果的、効率的な運用への助言
- (3) その他必要と認めること。
- (4) 会議の運営については、別に定める。

(オンライン支援 (eM A T) の活動内容)

第 9 条 オンライン支援 (eM A T) は県内福祉施設からのオンライン個別支援申請 (別紙 2) 及び C O V M A T からの支援依頼に基づき、オンライン支援の日程を調整し終息まで継続的に支援する。

- (1) 患者等発生施設における入所者や施設職員等の医療情報の収集
- (2) 施設内における有症状者のトリアージとゾーニング
- (3) 施設内の清掃・消毒方法等に関する助言・支援
- (4) 施設管理者に対する今後の接触者等の健康観察における留意点の助言

(その他)

第 1 0 条

- (1) 現場に携行する感染防護具、消毒物品等の装備資機材は、県が整備する。(各保健所に事前に配備した物品を現地に携帯する)
- (2) 装備品の内容及び管理については、別に定める。

(補償)

第 1 1 条

C O V M A T 要員の活動に伴う事故に対応するため、県は、C O V M A T 要員の傷害保険等に参加する。

附則

この要綱は令和 2 年 7 月 6 日から施行し、同日から適用する。

この要綱は令和 3 年 4 月 1 日から施行し、同日から適用する。

この要綱は令和 4 年 1 月 1 日から施行し、同日から適用する。

この要綱は令和 4 年 4 月 1 日から施行し、同日から適用する。

#### C O V M A T 要員の装備資機材について

	品目	数量
1	手指消毒用エタノール	6 本
2	消毒用物品ホルダー	6 個
3	感染防護具 (ガウン、キャップ)	6 セット
4	マスク (サージカル、N 9 5)	各 6 枚 / 回
5	フェイスシールド	6 枚
6	手袋	1 箱
7	養生テープ (赤、黄色、青)	各 2 巻
8	消毒用アルコール剤	1 本
9	マジック (黒・赤・青)	1 本
1 0	足袋	1 箱